

## 武蔵野市障害者計画・第 7 期障害福祉計画策定に係る考え方

### I 「障害福祉サービス等及び障害児通所支援等の円滑な実施を確保するための基本的な指針」における基本的な理念について

- 1 障害者等の自己決定の尊重と意思決定の支援
- 2 市町村を基本とした身近な実施主体と障害種別によらない一元的な障害福祉サービスの実施等
- 3 入所等から地域生活への移行、地域生活の継続の支援、就労支援等の課題に対応したサービス提供体制の整備
- 4 地域共生社会の実現に向けた取組
- 5 障害児の健やかな育成のための発達支援
- 6 障害福祉人材の確保・定着
- 7 障害者の社会参加を支える取組

### II 基本指針見直しのポイント

- ① 入所等から地域生活への移行、地域生活の継続の支援
- ② 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築
- ③ 福祉施設から一般就労への移行等
- ④ 障害児のサービス提供体制の計画的な構築
- ⑤ 発達障害者等支援の一層の充実
- ⑥ 地域における相談支援体制の充実強化
- ⑦ 障害者等に対する虐待の防止
- ⑧ 「地域共生社会」の実現に向けた取組
- ⑨ 障害福祉サービスの質の確保
- ⑩ 障害福祉人材の確保・定着
- ⑪ よりきめ細かい地域ニーズを踏まえた障害（児）福祉計画の策定
- ⑫ 障害者による情報の取得利用・意思疎通の推進
- ⑬ 障害者総合支援法に基づく難病患者への支援の明確化
- ⑭ その他：地方分権提案に対する対応

※ I 及び II は、令和 5 年 2 月 27 日開催 第 135 回社会保障審議会障害者部会の資料 1・2 より引用

### Ⅲ 計画策定にあたり検討すべき重点的な取組み（案）

1. 相談支援体制の強化
2. 地域生活支援の充実
3. 社会参加の充実
4. 障害児支援体制の充実
5. 障害者差別解消に向けた取組みの推進

#### 【参考】第4期から第6期までの重点的な取組

